

「研究・産学地域連携ユニット」は、本学研究者がより高い水準で研究ができるように各種研究支援を実施するほか、研究成果等の発信、技術相談対応、本学研究シーズとのマッチングによる課題解決や実装、企業との共同研究等による研究開発力の強化や、自治体および金融機関等との連携プロジェクトの企画・立案を行っています。

また、研究成果の社会実装に向けた外部資金の獲得支援や事業化支援(スタートアップ支援)および大学認定ベンチャー支援も行っています。

01 研究をより高い水準へ

研究者支援

- 外部資金公募情報収集と申請支援(科研費申請アドバイザー制度)
- 分野横断型研究プロジェクトの創出支援
- 若手研究者支援(英語論文校正支援)
- 部局支援担当制度による研究支援窓口の見える化
- 研究・社会貢献IR (Institutional Research)

02 地域ニーズを「発掘する」「集める」「解決する」

相談対応

- 南九州・南西諸島の地域課題や政策情報の一元的収集
- アンケートやヒアリングを通じて、地域課題を探索・発掘・収集
- 研究・教育といった大学の「知」に対する産業界や自治体からの相談への対応「南九州・南西諸島ラウンドテーブル」「鹿児島大学タウンミーティング」

03 地域ニーズと研究シーズとを「繋げる」/ プロジェクトを「育てる」

マッチング

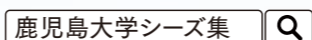
- 企業ニーズと研究シーズのマッチング
- 少人数制マッチングイベント「かごしまTechミーティング」の実施



04 研究シーズを「発掘する」「育てる」「発信する」

シーズ展開事業

- 大学研究シーズの収集と「研究シーズ集」の公開
- 展示会、セミナー・シンポジウム等による研究シーズ情報の全国への発信
- 鹿児島大学研究シーズ検索システム **KuRePS**



TOPICS トピックス **1** 若者の力を活用した地域コミュニティづくり支援 (行政からの受託研究事例)

■ 日置市: 法文学部地域社会コース……酒井 佑輔ゼミ

日置市飯牟礼地区をフィールドに、地域づくりをテーマとした調査活動に取り組み、その成果として世代を超えた交流と対話の場の創造を目的に、ゼミ生発案による地区公民館祭を開催した。本イベントは、調査成果を一方的に報告する従来型の成果発表とは異なり、学生と地域住民が同じ目線にたって楽しみながら交流できることを重視して企画された。

当日は、調査成果の展示に加え、スマートフォンに関するお悩み相談コーナーや、参加者全員が一緒に楽しめる「飯牟礼クイズ王決定戦」といったレクリエーションを実施、また、会場にキッチンカーも招致し、普段話さない人同士で自然に会話が生まれる雰囲気づくりを行った。

当日の状況に応じて学生が柔軟に対応したことや、地域の皆さんの積極的な参加・協力により最終的には約40名が参加し、世代を超えて交流を楽しむ公民館祭となった。



■ 大崎町: 法文学部地域社会コース……崎野 剛ゼミ

大崎町菱田地区について知ることからスタートし、そりサイクルセンターなどの施設や遺跡、町全体の視察も行い町の現状について、学ぶ機会を得た。

夏には、合宿を行い大学生と地域住民がまちあるきを通じて交流を深め、住民の考えや生活の背景、抱えている課題を理解する機会を得て、マップ作成を行い地域の魅力や課題を可視化した地域活性化に向けたアイデア出しを行った。

まちあるきやワークショップを通して得た気づき、地域活性化のアイデアについては、学生の視点を通じてブラッシュアップし、「交通面」「施設面」「コミュニティ面」とテーマを分け、町と地域へ提案した。

学生の若者ならではの意見や、地域住民が日常生活では気づきにくい視点により、大崎町菱田地区の魅力や可能性に気づき、新たな地域づくりの方法を共に見出すことにつながった。



05 プロジェクトを「育てる」

中小企業の研究開発力を強化「オープン実証ラボ」

- 研究成果の地域での可視化と試作機会の確保:「オープン実証ラボ・実証フィールド」の設置
- 地域課題解決型研究「実証ラボ・実証フィールドプロジェクト」の実施

06 地域の産学官交流の基盤を「創る」

産学官交流事業

- 地域関連団体等と連携した一般向けセミナー・シンポジウムの開催
- 認定コーディネーター会議の開催: 本学が認定した連携金融機関による企業ニーズの橋渡しや研究シーズの発信
- 地域自治体等連携会議の開催

07 研究成果を社会に「実装する」

大学発ベンチャー認定及び支援制度

- ビジネスプラン構築の支援等を通じた本学の研究成果の社会実装支援
- 鹿児島大学の教員・学生の起業支援
- 学内ビジネスプランコンテスト「KADAI STARTER's PITCH」の開催
- ベンチャービジネスラボラトリーによる事業化支援
- 大学発ベンチャーの認定(2026年4月末現在、18社)

株式会社 アーダムラボ	iCUREX株式会社	i-Analyze
株式会社 キュア薬品	株式会社 クール・クール・パフォーマンス	(一社) 構造物診断技術研究会
NPO法人 こどものけんちくがっこう	株式会社 サバイブファーマ	株式会社 食品安全推進センター
株式会社 スティックバイオテック	株式会社 TriGo	株式会社 FineMetrics
水と塩の科学 Water and Salt Science	株式会社 ZIFISH	株式会社 ナノシリコサン
Aurum IP 合同会社	株式会社 Altheonus	琉球昆虫(株)

TOPICS トピックス **2** ~超分野結集型 研究を目指して~ 2025年度 J-PEAKS 事業に採択

「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業(J-PEAKS)」は、地域の中核大学や特定分野の研究に強みを持つ大学を支援し、大学間での効果的な連携を図ることで、日本全体の研究力強化を牽引する「研究大学群」の形成を推進する文部科学省の事業である。

本事業では、地域産業や自治体等との連携を積極的に行い、研究成果の社会実装や地域経済活性化に繋げ、社会的インパクトを生み出すことも重視されている。

本学は2025年度から、長崎大学を基幹大学として「プラネタリーヘルスの実現を目指し、世界を牽引する大学へ」というビジョンを掲げるJ-PEAKS事業に、宮崎大学と共に連携大学として参画している。学術的な成果を追求することに留まらず、地球規模の課題解決や地域社会の変革に繋がるイノベーション創出を目指して、グローバルヘルス・グローバルリスク・グローバルエコロジーの3領域による超領域型融合研究を推進している。



TOPICS トピックス **3** 鹿児島大学と連携して課題解決に取り組みませんか。 学術コンサルティングや共同研究など各種連携メニューの紹介

	共同研究	受託制度	学術コンサルティング制度	寄 附
規定等	共同研究取扱規則	受託研究取扱規則	学術コンサルティング規則	寄附金等受入規則
概要(目的)	民間企業等から研究経費を受け入れ、本学研究者と民間企業等の研究者が、共通の課題に共同で研究に取り組み、課題の解決を図る研究	民間企業等から課題とともに委託・研究経費を受けて本学研究者が研究し、その成果を委託者に報告する研究	企業等の幅広い課題・要望に対し、教職員が専門的知識に基づき、指導助言、技術調査、情報提供等を通じて支援を行うもの	大学が学術研究や教育の充実・発展のため、民間企業や公益法人等から受け入れる寄附金
実施形態	本務	本務	本務	— (寄附者への行為なし)
実施場所	学内	学内	原則学内	特に制限なし
契 約	共同研究契約	受託研究契約	学術コンサルティング約款あるいは学術コンサルティング契約	なし
報告書作成義務	研究報告書作成提出義務あり	研究成果報告書作成提出義務あり	なし	なし
知的財産の取扱い	契約書において権利に関する取扱いについて定める	原則本学が権利を有する。取扱いは契約書において定める	知的財産が発生しない範囲で実施。発生する(発生した場合)は速やかに中止、受託研究又は共同研究へ移行	研究の結果、生まれた知的財産は本学に帰属(寄附者に成果等の還元は不可)
間接経費(研究管理経費)	直接経費の30%	直接経費の30%	直接経費の30%	直接経費の2%

企業・自治体等の皆様へ